

PARNASSIUS

No. 46

目 次

淡路島産甲虫類に関する文献目録(2).....	高橋 壽郎.....	1
クツワムシの体色について.....	堀田 久.....	11
ヒナカマキリの観察記録.....	堀田 久.....	11
安乎町におけるトゲナナフシの記録.....	堀田 久.....	12
イシガケチョウについて.....	谷川 大海.....	12
<i>Hypena lignealis</i> Walker オスグロホソアツバの記録	藤平 明.....	13

淡 路 昆 虫 研 究 会

ENTOMOLOGICAL ASSOCIATION OF AWAJI

HYOGO JAPAN

March 1998



淡路島産甲虫類に関する文献目録(2)*

高橋壽郎¹

122. 高橋壽郎 (1981) 淡路島産ハラゲピロウドコガネについて. PARNASSIUS (24):1-3.
淡路島でのハラゲピロウドコガネの記録 (カバイロピロウドコガネになると思われる).
123. 岡田清隆 (1981) 三熊山における松くい虫防除のための農薬空中散布による死亡落下昆虫類調査. 兵庫生物 8(2):75-85.
甲虫類は主としてゾウムシ科のマダラヒメゾウムシなどである. マツノマダラカミキリは得られていない.
124. 高橋壽郎 (1981) 兵庫県におけるオサムシの分布 (3). 兵庫生物 8(2):110-112.
マイマイカブリの淡路島の分布について記録.
125. 高橋壽郎 (1981) 兵庫県のナガツツハムシ. きべりはむし 9(1):6-9.
淡路島におけるキムネナガツツハムシ, キイロナガツツハムシの分布記録.
126. 高橋壽郎 (1981) 兵庫県のコガネムシ. 鳥と自然 (22):5-14.
シロスジコガネ吹上浜の記録.
127. 環境庁 (1981) 兵庫県動植物分布図. 第2回自然環境保全基礎調査.
ゲンジボタルの淡路島の分布が記録されている.
128. 金田昌士 (1981) 先山で淡路未記録のカミキリ2種. PARNASSIUS (25):6.
先山からのヒメリンゴカミキリ, ハスオビヒゲナガカミキリの記録.
129. 堀田 久 (1981) ヒメツチハンミョウの採集例. PARNASSIUS (25):12.
洲本市内での採集記録.
130. 高橋壽郎 (1981) 兵庫県のシデムシ・チビシデムシ. IRATSUME (5):40-45.
淡路島からクロシデムシ, ヒロオビモンシデムシ, マエモンシデムシ, ヨツボシモンシデムシ, オオモモブトシデムシ, モモブトシデムシ, ベッコウヒラタシデムシ, オオヒラタシデムシ8種の記録.
131. 高橋壽郎 (1981) 兵庫県のクビナガハムシ. てんとうむし (7):106-110.
淡路島からキバラルリクビボソハムシ, トゲアシクビボソハムシ, キオビクビボソハムシ, カワリクビボソハムシ, ヤマイモクビボソハムシ, ヤマイモアカハムシ, アカツヤクビナガハムシの7種記録.
132. 高橋壽郎 (1981) 兵庫県のトラハナムグリとヒラタハナムグリ. てんとうむし (7):121-125.
淡路島に分布しているヒラタハナムグリが記録されている.
133. 環境庁 (1981) 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査報告書 (昆虫類)B4, 258p.
ゲンジボタルの淡路島の分布記録.
134. 登日邦明編 (1982) 「煙島の自然」 B5, 124p. (南淡町教育委員会)
オオヒラタゴミムシ, ナガチャコガネ, ウバタマコメツキ, ホソホタルモドキ, セスジゴミムシダマシ, キマワリ, クチキムシ, ベニカミキリ, マツノマダラカミキリ8種の甲

1: 〒652-0054 神戸市兵庫区氷室町1丁目44

*: 兵庫県甲虫相資料・343

虫が記録されている。

135. 高橋壽郎 (1982) 兵庫県のツチハンミョウ。 PARNASSIUS (26):3-6.

ヒメツチハンミョウ, キイロゲンセイ, トサヒラズゲンセイ 3種の淡路島からの記録。

136. 田中 稔 (1982) タイワンウチワヤンマとウチワヤンマ混棲す。 PARNASSIUS (26):16.

津名郡東浦町浦の池周辺の柳の樹液でシラホシハナムグリ 18♂, 23♀採集の記録 (9~13・VIII・1981)。

137. 堀田 久 (1982) センチコガネの採集例。 PARNASSIUS (26):16.

洲本市中川原での記録 (1ex., 13・IX・1980)。

138. 高橋壽郎 (1982) 兵庫県のテントウダマシ。 きべりはむし 10(1):11-20.

淡路島から *Geendomychus sp.*, クリバネツヤテントウダマシ, ヨツボシテントウダマシ, ルリテントウダマシ 4種の記録。

139. 高橋壽郎 (1982) 兵庫県産 *Cryptocephalus* 属のハムシ 4種の分布について。 きべりはむし 10(1):29-34.

140. 高橋壽郎 (1982) 兵庫県のトゲハムシ・カメノコハムシ。 IRATSUME (6):46-56.

淡路島からセダカジンガサハムシ, ヒメカメノコハムシ, セモンカメノコハムシ, イチモンジカメノコハムシ 4種の記録。

141. SUZUKI, K. (1982) Geographical distribution of two color forms of *Chrysolina aurichalea* (Mannerheim) (Coleoptera, Chrysomelidae) in the Tokai district central Honshu, Japan. New Entm. 31(2):1-10.

淡路島のヨモギハムシ二色彩型の分布状況についての解説もあり。

142. 高橋壽郎 (1982) 兵庫県のジョウカイモドキ。 きべりはむし 10(2):18-22.

淡路島よりツマキアオジョウカイモドキの記録。

143. 淡路自然研究保護連絡会編 (1982) 「島の生きものたち (淡路の生物誌)」 (神戸新聞出版センター B6. 210p.)。

甲虫について次のような種について解説されている (担当, 登日邦明, 堀田 久)。 オトシブミ, ミズスマシ, シロスジカミキリ, ホシベニカミキリ, オオヒョウタンゴミムシ, タマムシ, オオゾウムシ, ゴホンダイコクコガネ, チビクワガタ, ベーツヒラタカミキリ, ノコギリクワガタ, トサヒラズゲンセイ, コクワガタの 13種。

144. 高橋壽郎 (1982) 兵庫県のクワガタムシ。 てんとうむし (8):141-152.

淡路島からチビクワガタ, ミヤマクワガタ, ノコギリクワガタ, ネブトクワガタ, コクワガタ, スジクワガタの 6種記録。

145. 環境庁 (1982) 「日本の重要な昆虫類の分布。 全国版」 B4. 264p..

ゲンジボタルの淡路島での記録がある。

146. 高橋壽郎 (1983) 兵庫県のマメゾウムシ。 PARNASSIUS (27):1-6.

淡路島よりエンドウゾウムシ, アズキマメゾウムシ 2種の記録。

147. 田中 稔 (1983) 論鶴羽山でトビヒゲヒメカミキリを採集。 PARNASSIUS (27):14.

148. 登日邦明 (1983) 淡路島に於けるゴホンダイコクコガネの新産地。 PARNASSIUS (27):15.

洲本市内産.

149. 高橋壽郎 (1983) 兵庫県のアシナガコガネ. 兵庫生物 8(4):231-232.
淡路島よりヒメアシナガコガネを記録.
150. 高橋壽郎 (1983) 兵庫県のハムシダマシ. PARNASSIUS (28):4-9.
淡路島よりアラメヒゲプトゴミムシダマシ, ヒゲプトゴミムシダマシ, ハムシダマシの記録.
151. 高橋壽郎 (1983) 兵庫県のオオキノコムシ (1). きべりはむし 11(1):10-16.
淡路島よりセモンホソオオキノコの記録.
152. 高橋壽郎 (1983) 兵庫県のエンマムシ類. PARNASSIUS (29):1-14.
淡路島よりルリエンマムシ, ハマベエンマムシ, ヤマトエンマムシ, エンマムシ, ヒメエンマムシ, ムナクボエンマムシ, ナガエンマムシ7種の記録.
153. 前川和昭 (1983) 淡路島産ゴミムシ採集記録. PARNASSIUS (29):15-17.
ヒョウタンゴミムシ科2種, ゴミムシ科38種, ホソクビゴミムシ科1種の記録.
154. 高橋壽郎 (1983) 兵庫県のオオキノコムシ (2). きべりはむし 11(2):3-40.
淡路島よりヒラナガムクゲオオキノコムシの記録.
155. 高橋壽郎 (1983) 兵庫県のスジコガネ. IRATSUME (7):30-51.
淡路島よりウスチャコガネ, キスジコガネ, カタモンコガネ, セマダラコガネ, ヒメスジコガネ, コガネムシ, アオドウガネ, オオスジコガネ, ドウガネブイブイ, サクラコガネ, ヒメコガネ, スジコガネの12種の記録.
156. UÉNO, S. I. (1983) The Faunal Affinity of the Islands of Awajisima as Viewed from Trechina Beetles. Ann. Zool. Jap. 56(4):351-357.
淡路島より次の新種記載がされた.
p.355-357, Fig.3-4. *Trechina onocoro* S. UÉNO, 1983 オノコロメクラチビゴミムシ
Holotype:♂, Ayuya-gawa Valley 26. III. 1983, Y. Nishikawa leg.
Paratype:1♀, Ayuya-gawa Valley 4. XII. 1982, Y. Nishikawa & A.Noto leg., 54♂♂, 2♀♀, Imature larva, Ayuya-gawa Valley 26. III. 1983, Y. Nishikawa & A.Noto leg.
157. 今坂正一・中條道崇 (1984) ヒサゴゴミムシダマシ属の系統と進化 (7). 月刊むし (155):21-26.
ツヤヒサゴゴミムシダマシ淡路島柏原山の記録.
158. 高橋壽郎 (1984) 兵庫県の甲虫類 (1). 兵庫生物 8(5):289-292.
淡路島よりホソホタルモドキ, トビカツオブシムシ, シモフリマルカツオブシムシ, シラオビマルカツオブシムシ4種の記録.
159. 今坂正一・中條道崇 (1984) ヒサゴゴミムシダマシ属の系統と進化 (8). 月刊むし (157):23-29.
セトウチヒサゴゴミムシダマシ *Misolamphidius* sp. の淡路島からの記録あり.
160. 林 匡夫・木元新作・森本 桂 (1984) 「原色日本甲虫図鑑 (IV)」。72pls. 238p. (保育社. 大阪).
トガリシロオビカミキリ淡路島の記録.
161. 高橋壽郎 (1984) 淡路島より新たに記録された甲虫について. PARNASSIUS (30):1-7.

オサムシモドキ, フチトリケシガムシ, ヒメケシガムシ, キバネケシガムシ, ハマベエン
マムシ, ヤマトエンマムシ, ホソセスジヒゲブトハネカクシ, ヒメサビキコリ, ヒロオビジョ
ウカイモドキ, ヤマトスナゴミムシダマシ, ヒメスナゴミムシダマシ, オオスナゴミムシダ
マシ, カクスナゴミムシダマシ, オオマルスナゴミムシダマシ, ホソハマベゴミムシダマシ,
ヒメホソハマベゴミムシダマシ, ヒラタキノコゴミムシダマシ, ナガハムシダマシ, スイバ
ハムシ, ヒメヒサゴトビハムシ, マツノクチブトキクイゾウムシの 21 種記録.

162. 堀田 久 (1984) タمامシ幼虫の食樹について. PARNASSIUS (30):10.

洲本市安乎町にてヤブニッケイ, ピワの枯木よりタمامシの幼虫多数.

163. 岸井 尚 (1984) 兵庫県のコメツキムシ (1). きべりはむし 12(1):1-14.

淡路島からヒメサビキコリ, ウバタマコメツキの記録.

164. 高橋壽郎 (1984) 兵庫県におけるアオドウガネの分布. きべりはむし 12(1):19-24.

淡路島での津名郡岩屋, 洲本市安乎町, 先山, 山武牧場の記録.

165. 高橋壽郎 (1984) 兵庫県のハナムグリ. てんとうむし (9):1-7. 淡路島よりカナブン,

アオカナブン, ハナムグリ, アオハナムグリ, シラホシハナムグリ, レンツアオハナムグ
リ, シロテンハナムグリ, アカマダラコガネ, クロハナムグリ, ヒメハナムグリ, コアオ
ハナムグリの 11 種記録.

166. 岸井 尚 (1984) 兵庫県のコメツキムシ (2). きべりはむし 12(2):36-49.

淡路島からシラケチビミズギワコメツキの記録.

167. 伊藤 武 (1984) 兵庫県下で得た甲虫三種の記録. きべりはむし 12(2):56.

洲本市三熊山でアカガネエグリタمامシの記録.

168. 日本鞘翅学会 (草間慶一・高桑正敏・窪木幹男・小宮次郎・榎原 寛・大林延夫)(1984).

「日本産カミキリ大図鑑. 568p. 96pls.」(講談社・東京)

淡路島を分布として図説されている種が 80 種ある.

169. 前川和昭 (1984) 採集 4 例の報告. PARNASSIUS (31):7.

オオヒョウタンゴミ阿万吹上浜での記録.

170. 上野俊一・黒沢良彦・佐藤正孝 (1985) 「原色日本甲虫図鑑 (II)」. (保育社・大阪).

淡路島に分布として図説されているものアキオサムシ, ヤコンオサムシ, オノコロメク
ラゴミムシの 3 種である.

171. 高橋壽郎 (1985) 兵庫県の甲虫類 (2). 兵庫生物 9(1):23-26.

淡路島よりヒメカンショコガネ, クリイロコガネ, マルオクロコガネ, クロコガネ, ナ
ガチャコガネ, オオコフキコガネ, コフキコガネ, シロスジコガネの 8 種記録.

173. 黒沢良彦. 久松定成・佐々治寛之編著 (1985) 「原色日本甲虫図鑑 (III)」 (保育社・
大阪).

p.33. アカガネエグリタمامシ *Endelus pyrrosiae* Y.KUROSAWA 淡路島分布の記録あ
り.

174. 和田 薫 (1985) 日本周辺におけるコアオハナムグリ属についての研究 (予報).
LAMELLICORNIA (1):55-64.

コアオハナムグリ洲本市先山の記録あり.

175. 高橋壽郎 (1986) 兵庫県のヒゲナガゾウムシ (1). 兵庫生物 9(2):111-114.

淡路島よりイボタロウヒゲナガゾウムシの記録.

176. 塚本珪一 (1986) 日本産食糞性コガネムシ類の分布より考察した糞処理能力についての研究. Bull. Heian High School (30):1-36, pl. 2.

淡路島よりマメダルマコガネ, ゴホンダイコクコガネ, オオマグソコガネ, セマルマグソコガネ, マグソコガネ, オオフタホシマグソコガネの6種の記録.

177. 幸形 聡 (1986) 兵庫県のマメクワガタの記録. 月刊むし (190):2-3.

三原郡南淡町沼島にある樹種不明の腐朽材数本より 7exs. 得たとの記録.

178. 登日邦明編 (1986) 「三熊山の自然第2集」 (淡路自然研究保護連合会)

ベーツヒラタカミキリ, チビクワガタ, マイマイカブリ, センチコガネ, オオオサムシの解説あり.

179. 植原 寛 (1987) 2種のサビカミキリ. 月刊むし (191):22-26.

サビカミキリの分布に淡路島が記録されている.

180. 高橋壽郎 (1987) 兵庫県のダイコクコガネ. てんとうむし (10):23-26.

淡路島からマメダルマコガネ, ゴホンダイコクコガネ, マエカドコエンマコガネ, クロマルエンマコガネ, コブマルエンマコガネ, カドマルエンマコガネ, マルエンマコガネ7種の記録.

181. 高橋壽郎 (1987) 兵庫県のナガハナノミ・ヒラタドロムシ. てんとうむし (10):55-58.

淡路島からヒゲナガハナノミ, ヒラタドロムシ2種の記録.

182. 高橋壽郎 (1987) 淡路島のツツハムシ. PARNASSIUS (32):3-11.

淡路島よりタマツツハムシ, バラルリツツハムシ, チビルリツツハムシ, セスジツツハムシ, オオクロスジツツハムシ, クロボシツツハムシ, ジュウシホシツツハムシの7種記録.

183. 堀田 久 (1987) 洲本市由良小学校付近の昆虫類. PARNASSIUS (32):12-15.

甲虫類 33種の記録あり.

184. 高橋壽郎 (1987) 兵庫県のベニボタル. きべりはむし 15(1):8-15.

淡路島からムネアカテングベニボタルの記録.

185. 田中正浩 (1987) 兵庫県のクワガタムシ. 昆虫と自然 22(7):9-14.

淡路島からチビクワガタ, マメクワガタ, ミヤマクワガタ, ノコギリクワガタ, ネプトクワガタ, コクワガタ, スジクワガタ, ヒラタクワガタの8種記録.

186. 幸形 聡 (1987) マメクワガタの採集. 昆虫と自然 22(7):24-25.

三原郡沼島でのマメクワガタの状況解説.

187. 塚本珪一 (1987) 小島嶼産糞虫について. LAMELLICORNIA (3):31-41.

淡路島よりマメダルマコガネ, ゴホンダイコクコガネ, クロマルエンマコガネ, コブマルエンマコガネ, カドマルエンマコガネ, マルエンマコガネ, オオフタホシマグソコガネ, オオマグソコガネ, セマルオオマグソコガネ, マグソコガネ10種の記録.

188. KISHII, T. (1987) A taxonomic study of the Japanese Elateridae (Coleoptera), with the keys to the subfamilies, tribe and genera. Biol. Lab. Heian Hight Sch., Kyoto (priv. pub.):1-262, 1tab. 12pls..

淡路島からウバタマコメツキ, シラケチビミズギワコメツキの記録.

189. 高橋壽郎 (1988) 兵庫県のゴミムシダマシ (1). 兵庫生物 9(4):238-240.

- 淡路島からヤマトオサムシダマシ, ニセハマヒョウタンゴミムシの記録.
190. 前川和昭 (1988) 淡路のハンミョウ採集記録. PARNASSIUS (33):4.
ハンミョウ, ニワハンミョウ, コハンミョウ, ヒメハンミョウの記録.
191. 高橋壽郎 (1988) シラホシハナムグリの兵庫県下での分布. きべりはむし 16(1):5-6.
淡路島の分布についても言及.
192. 岩田隆太郎 (1988) 近畿地方のカミキリ相. Spec. Bull. Jpn. Soc. Coleopteral (3):38-43.
淡路島からセダカコブヤハズカミキリ, トゲヒゲトビイロカミキリ, チャイロヒメカミキリの記録.
193. 田村 保 (1988) ヒゲナガコブヤハズ属の研究. 北昆の四季 (17):6.
淡路島での産に言及. ツチイロフトヒゲカミキリの記録もある (淡路で1987年14exs. 採集できたと. ヒゲナガコブヤハズ属のものは淡路で100exs. 以上採集していると).
194. 堀田 久 (1988) タマムシ幼虫の食樹について (2). PARNASSIUS (34):4.
洲本市安平町でナルトミカンの枯枝の中よりタマムシ幼虫を採集.
195. 高橋壽郎 (1988) 兵庫県産カミキリムシの2題. きべりはむし 16(2):40.
シロスジドウボソカミキリの洲本市三熊山〔金田, 1980〕の記録.
196. 石田正明 (1988) 図解同定手引き (6) フトカドエンマコガネ, クロマルエンマコガネ. SAIKAKU (6):10-11.
クロマルエンマコガネ淡路島の分布が記録されている.
197. 田村 周・田村 保 (1988) 淡路島未記録のカミキリ2種. 月刊むし (214):10-11.
ツチイロフトヒゲカミキリ, タテジマカミキリの記録.
198. 高橋壽郎 (1989) 兵庫県のゴミムシダマシ (2). 兵庫生物 9(5)292-294.
淡路島よりヒメスナゴミムシダマシ, オオスナゴミムシダマシ, ホソハマベゴミムシダマシ, ヒメホソハマベゴミムシダマシの5種記録.
199. 大築正弘 (1989) 大阪府のクワガタムシ. 昆虫と自然 24(5):21-25.
三原郡沼島のマメクワガタの記録あり.
200. 長谷川道明・日下部良康 (1989) ヘリグロリンゴカミキリとムネグロリンゴカミキリについて. 昆虫と自然 24(9):7-12.
201. 塚本瑠一 (1989) 日本産食糞性コガネムシ類分布資料 (5). SAIKAKU (8):7-22.
淡路島よりオオマグソコガネ, セマルオオマグソコガネ, マグソコガネ, オオフタホシマグソコガネの4種記録.
202. 高橋壽郎 (1989) 兵庫県産のクビボソハムシ. きべりはむし 17(2):41-42.
クビボソトビハムシ淡路島分布の記録.
203. 佐野信雄 (1989) 淡路島・小豆島のコブヤハズカミキリ. へりぐろ (11):10-13.
204. 藤富正明 (1990) 淡路へきた虫 (1) ……アルファルフアタコゾウムシ. PARNASSIUS (36):1.
205. 高橋壽郎 (1990) 兵庫県のゴミムシダマシ (3). 兵庫生物 10(1):25-27.
淡路島よりカプトゴミムシダマシ, モンキゴミムシダマシ, クロツヤキノコゴミムシダマシ3種の記録.

206. 登日邦明 (1990) 淡路島のゲンジボタルの調査結果について. N/K 通信 No. 06:3.
淡路島内 9ヶ所にてゲンジボタルの生息が確認された.
207. 塚本珪一 (1990) 日本産食糞性コガネムシ類分布資料 (6). SAIKAKU (9):10-13.
淡路島からマメダルマコガネ, ゴホンダイコクコガネが記録されている.
208. 高橋壽郎 (1990) 兵庫県産珍稀な 3 種のクビボソハムシの記録. きべりはむし
18(2):37-40.
淡路島からトゲアシクビボソハムシの記録.
209. 高橋壽郎 (1990) 兵庫県のニセクビボソムシ. Crude (34):6-7.
淡路島よりオビモンニセクビボソムシの記録.
210. 高橋壽郎 (1991) 兵庫県のゴミムシダマシ (4). 兵庫生物 10(2):72-74.
淡路島よりベニモンキノコゴミムシダマシ, ヒラタキノコゴミムシダマシ, ナガニジゴ
ミムシダマシ 3 種の記録.
211. 楨原 寛・斎藤明子・佐藤正孝 (1991) ヤツボシハナカミキリとツماغロハナカミキ
リ (2). ELYTRA 19(1):5-18.
ツماغロハナカミキリ淡路島産のもの図示がある.
212. 高橋壽郎 (1991) 兵庫県のエンマムシ. きべりはむし 19(1):1-10.
淡路島よりハマベエンマムシ, ルリエンマムシ, ムナクボエンマムシ, クロエンマムシ,
ヤマトエンマムシ, ヒメエンマムシ, エンマムシ, ナガエンマムシの 8 種記録.
213. 高橋壽郎 (1991) 兵庫県のクチキムシ (1). きべりはむし 19(1):11-15.
淡路島よりオオクチキムシ, クチキムシ 2 種記録.
214. 高橋壽郎 (1991) 兵庫県の甲虫類 (3). Crude (35):3-8.
淡路島からカドムネチビヒラタムシの記録.
215. 高橋壽郎 (1991) *Protaetia lenzi* (Harold) の分布について. SAIKAKU (10):34-65.
淡路, 洲本の記録あり.
216. 塚本珪一 (1991) 日本産食糞性 (広義) コガネムシ類の日本列島における分布記載.
SAIKAKU (10):34-65.
淡路島よりオオマグソコガネ, セマルオオマグソコガネ, オオフタホシマグソコガネ,
マメダルマコガネ, ゴホンダイコクコガネ, コブマルエンマコガネ, クロマルエンマコガ
ネの 7 種記録.
217. 塚本珪一 (1991) 日本列島の小島嶼における食糞性コガネムシ. 昆虫と自然
26(13):27-32.
淡路産糞虫 10 種とある.
218. 佐野信雄 (1991) セダカコブヤハズ採集記-淡路島編. 山ちゃん 2:35-38(山ちゃん
出版).
219. 高橋壽郎 (1992) 兵庫県のゴミムシダマシ (5). 兵庫生物 10(3):104-106.
淡路島よりエグリゴミムシダマシの記録.
220. 水上哲朗 (1992) 日本産チビクワガタ属の分布. クワガタ虫 II:82-86.
マメクワガタの南淡町沼島の記録がある.
221. 高橋壽郎 (1992) 兵庫県の甲虫類 (4). Crude (36):7-13.

淡路島よりクロオビセマルヒラタムシ, ミツモンセマルヒラタムシ, ホソミツカドコナヒラタムシ, ホソヒラタキスイ, ジャバホソヒラタムシ, クロモンキスイ, カワリキスイ, キイロセマルキスイの8種記録.

222. 大林延夫・佐藤正孝・小島圭三編. 日本産カミキリムシ検索図説. (東海大学出版会刊).

淡路島産フタオビヒメハナカミキリ, ヒメヒゲナガカミキリの記録.

223. 高橋壽郎(1992) 兵庫県のアリモドキ. きべりはむし 20(1):5-16.

淡路島よりホソクビアリモドキ, ケオビアリモドキ, ウスモンホソアリモドキ, ヒゲブトアリモドキの4種記録.

224. 高橋壽郎(1992) 兵庫県のカミキリモドキ. IRATSUME (15・16):1-14.

淡路島産ツマグロカミキリモドキ, アオカミキリモドキ, モモブトカミキリモドキ, フタイロカミキリモドキ4種の記録.

225. 堀田 久(1992) 常陸寺山の昆虫採集記録. PARNASSIUS (38):7-9.

ヤコンオサムシ, クロウリハムシ, ノコギリクワガタ, コクワガタ, ハンミョウ, クスベニカミキリの記録.

226. 楠井善久(1992) 沼島の甲虫採集記録. 南紀生物 34(2):103-104.

オオスナハラゴミムシ, クロツヤヒラタゴミムシ, ヒラタクワガタ, コクワガタ, ネプトクワガタ, コプマルエンマコガネ, カナブン, キョウトアオハナムグリ=レンツアオハナムグリ, ハナムグリ, コアオハナムグリ, ヒラタハナムグリ, ウバタマコメツキ, サビキコリ, チャイロコメツキ, クシコメツキ, アカアシオオクシコメツキ, ホソヒメジョウカイモドキ, ルイスコオニケシキスイ, ヨツボシオオキスイ, ニジュウヤホシテントウ, ユミアシゴミムシダマシ, ノコギリカミキリ, タケトラカミキリ, アトモンサビカミキリ, セミスジコブヒゲナガカミキリ, キイロクビナガハムシ, ヤマイモハムシ, マダラアラゲサルハムシ, クロウリハムシ, アトボシハムシ, チャバネツヤハムシ, カシルリオトシブミ, オオゾウムシ, トホシオサゾウムシ, *Xylebrus sp.*(キクイムシ科)の35種記録.

227. 井村有希・出嶋利明. 水沢清行(1993) ヒメオサムシの6新亜種. 月刊むし(264):210-16, figs.19, 20, 32.

淡路島産のものにアワジヒメオサムシと新亜種記載.

Carabus (Ohomopteres) japonicus awajiensis IMURA, DEJIMA et MIZUSAWA

Holotype. ♂, 1. II. 1894, Paratypes, 9♂, 9♀, 1. II. 1984, 2♂, 16. II. 1983,

6♂, 3♀, 5. I. 1990(いずれも洲本市先山産).

228. 大草伸治(1993) 淡路島のオサムシ類. PARNASSIUS (39):4-5.

クロカタピロオサムシ, アキタクロナガオサムシ, ヒメオサムシ=アワジヒメオサムシの記録.

229. 前川和昭(1993) ヒラズゲンセイ他数種の採集報告. PARNASSIUS (39):11.

ヒラズゲンセイ, キイロトラカミキリ, セダカコブヤハズカミキリの記録.

230. 富永 修(1993) 近畿のオサムシ. 昆虫と自然 29(13):39-42.

アワジヒメオサムシについての言及あり.

231. 荒谷邦雄・大淵武広(1993) 日本産クワガタムシの生活史(4). 昆虫と自然 28(13):43-

47.

三原郡沼島のマメクワガタについての記録あり。

232. 自然環境研究所 (1993) 「淡路島の絶滅の恐れある野生生物 (I)」 (自然環境研究所特別出版物第 2 集, pp.1-50).

オオヒョウタンゴミムシ (p.16-17), ゲンジボタル (p.18-19) について記録。

233. 高橋壽郎 (1993) 兵庫県のゴミムシダマシ (6). *Crude* (38):22-23.

淡路島よりオオツヤホソゴミムシダマシ, コメノゴミムシダマシ, セスジユミアシゴミムシダマシ, ニジゴミムシダマシ, ツヤヒサゴゴミムシダマシ, ホソクビキマワリ, コマルキマワリ, キマワリの 8 種の記録。

234. 森 正人・北山 昭 (1993) 「図説 日本のゲンゴロウ」 (文一総合出版, 東京).

ヒメシマチビゲンゴロウ *Nebrioporus nipponicus* (TAKIZASA,1933)(p.86-87), スジゲンゴロウ *Hydaticus satoi* WEWALKA(1975)(p.132) 共に淡路島産の記録あり。

235. 佐野信雄 (1993) 阿讃山脈のセダカコブヤハズカミキリ II - 追加記録と進入経路について - . *へりぐろ* (14):6 - 10.

淡路島産セダカコブヤハズカミキリについての記録あり。

236. 藤多文雄 (1994) ヘリグロタマトビハムシの採集例. *月刊むし* (279):36.

淡路島での記録の紹介あり。

237. 高橋壽郎 (1994) 淡路島の甲虫相. *PARNASSIUS* (40):1 - 6.

淡路島産の甲虫としてこの時点にまでわかっているもの 71 科 616 種として科別に産出種数と注目種について若干の解説を加えた。

238. 高橋壽郎 (1994) 兵庫県のコガネムシについて. *PARNASSIUS* (41):5 - 13.

淡路島産コガネムシについても言及あり。

239. 水沼哲郎・永井信二 (1994) 「世界のクワガタムシ大図鑑」 (月刊むし社・東京) マメクワガタ沼島 (兵庫県) が分布に入っている (p.299).

240. 堀田 久 (1994) 昆虫類の早期発生について. *PARNASSIUS* (41):15 - 16.

タマムシ 5 月 31 日羽化の報告あり (洲本市安乎町北谷).

241. 藤富正明 (1995) 私版 淡路の昆虫リスト (2). *PARNASSIUS* (42):3 - 4.

80 種の淡路島産甲虫がアイウエオ順に配列示されている。

242. 自然環境研究所 (1995) 「淡路島の絶滅の恐れある野生生物 (II)」 (自然環境研究所特別出版物第 3 集, pp.1-79).

アワジヒメオサムシ (p.18), ゲンゴロウ (p.20) の 2 種について解説されている。

243. 神奈川県博物館 (1995) 「阿部光典ゲンゴロウ類コレクション標本目録」 (神奈川県立博物館自然部門資料目録 第 8 号:1 - 66).

ヒメゲンゴロウ淡路島福良産記録 (p.45).

244. 堀田 久 (1996) クロハナムグリの採集記録. *PARNASSIUS* (43):10.

洲本市安乎町にて。

245. 高橋壽郎 (1996) オオセンチコガネとセンチコガネ. *きべりはむし* 24(1):7 - 13.

センチコガネ淡路島の記録。

246. 自然環境研究所 (1996) 「淡路島の絶滅の恐れある野生生物 (III)」 (自然環境研究所特

別出版物第4集, pp.1-119).

クロカタピロオサムシ (p.16 - 17), チビクワガタ (p.18 - 19) ベーツヒラタカミキリ (p.20 - 21) の記録.

247. 近藤伸一 (1996) フタイロカミキリモドキを南淡町門崎で採集. きべりはむし 24(2):49.

248. 井村有希・水沢清行 (1996) 「世界のオサムシ大図鑑」(むし社・東京).

アワジヒメオサムシ *Carabus (Ohomopterus) japonicus awajiensis* が図説されている. pl.6, f.46-12, holotype ♂, Mt.Sen-zan, Is.Awaji-shima, Sumoto C., Hyogo Pref. 1. II. 1986, I.Tanaka leg..

249. 洲本市立淡路文化史料館 (1996) 淡路島の自然シリーズ "淡路島の昆虫" B5, 10p. (1996・VII).

ヒメオサムシ, オオヒョウタンゴミムシ, クロカタピロオサムシ, チビクワガタ, マメダルマコガネ, ヒメハナムグリ, ベーツヒラタカミキリ, トゲヒゲトラカミキリなどの甲虫類について解説されている.

250. 高橋壽郎 (1996) 淡路島のコガネムシ類. PARNASSIUS (44):1-7.

クワガタムシ科 8 種, センチコガネ科 1 種, コガネムシ科 56 種について解説.

251. T.KISHII (1996) Notes on Elateridae from Japan and its adjacent Area(4). Bull. Heian Hight School (39):1-48, 8pls.

ハマベオオヒメサビキコリ *Agripnus (Colaulon) tukamoto* (KISHII, 1956) の Is. Awajishima 産の記録あり.

252. 堀田 久 (1997) 淡路島の環境変化と昆虫. 「兵庫の自然探訪」(兵庫県生物学会), p.145-146.

アワジヒメオサムシ, オオヒョウタンゴミについての解説あり.

253. 兵庫自然保護協会編 (1997) 「ひょうごの野生動物」(神戸新聞総合出版センター刊・神戸市).

淡路島産の甲虫について次の種が解説されている.

高橋壽郎, p.163-164, ヨドシロヘリハンミョウ, 三原郡沼島. p 167-178, オオヒョウタンゴミムシ, 淡路島海岸, 吹上ノ浜などの産地が知られている.

登日邦明, p.165. クロカタピロオサムシ, 淡路島 2ヶ所で発見. p.166, アワジヒメオサムシ, 先山山系. p.174-175, ヒメボタル, 淡路島数ヶ所. p.175, ゲンジボタル, 淡路島 10ヶ所あまり. p.175-176, ベーツヒラタカミキリ, 洲本市の一部.

254. 登日邦明 (1997) 淡路島の動植物とその現状. 自然とともに (39)2.

アキタクロナガオサムシ, クロカタピロオサムシについても言及あり.

以上 1997 年発行の分までで淡路島産の甲虫類に関する文献目録をまとめて見た. まだ脱落とか追加する文献があることと思われる, これから発表されるものとあわせ時期を見て追加篇をまとめたいと思っている. (IX・1997)

(たかはし としお)

クツワムシの体色について

堀田 久²

筆者は1996年8月末に、津名町佐野の知人よりクツワムシの雌雄をもらって飼育したところ、10月初旬になって産卵し、1997年6月に孵化した。クツワムシには緑色型と褐色型があることが知られているが、今回の飼育では、特に体色の変化に留意して観察したので、ここに報告しておきたい。

- 1996年の津名町佐野産の個体は、雌雄とも褐色型であった。
- 1997年6月8日から6月20日にかけて孵化したのは15個体であったが、1令幼虫はすべて緑色で、個体差は認められなかった。
- 2令になると、褐色に薄茶がまざった個体が現れ、その個体はやがて全体が薄茶色に変化して、褐色型であることが明確になった。一方緑色型の個体は、1令のときと比べてほとんど体色に変化がなかった。
- 孵化した15個体のうち、褐色型は8個体で、緑色型は7個体であったが、その後の脱皮に失敗するものが多く、生き残って8月末に成虫となったのは、褐色型の雄1頭と、同じ褐色型の雌1頭のみであった。
- 『鳴く虫の博物誌』松浦一郎著(文一総合出版)によると、クツワムシの色の違いは生まれつきでなく、成虫になるときに決まるとあるが、筆者の観察では、2令のときに緑色型と褐色型の違いが現れた。
- このたびの観察は、上記のように対象となる個体数こそ少なかったが、成虫になるときではなく、2令のときに体色が決まったのは事実である。筆者はクツワムシの体色について、上記以外の資料を知らないので、ご教示いただければ幸いである。

(ほりた. ひさし)

ヒナカマキリの観察記録

堀田 久²

筆者は1990年に、洲本市安乎町の自宅内で、ヒナカマキリ *Iridoptyx maculatus* を採集したが(本誌37号)、その後も自宅付近で数回本種を確認している。1997年には下記のように3個体を採集し、そのうちの1頭を飼育したので報告しておく。

1997年9月29日	1♀	安乎町北谷(自宅内)
1997年10月10日	1♀	安乎町北谷(自宅横のミカン畑)
1997年10月15日	1♀	安乎町北谷(自宅内)

10月15日に採集した個体は、水槽の底に土を入れて飼育し、餌としてヒシバッタを与えた。ヒナカマキリは2日に1回くらいの割合でヒシバッタを捕食し、土の上よりも水槽の蓋の上に静止していることが多かったが、10月18日には水槽の蓋の内側に産卵し(卵塊

の長径は9mm), 11月6日にも産卵した(長径8mm). その後ヒシバッタを与えてもほとんど捕食しなかったが, 11月下旬にも産卵し(長径7mm), 12月17日まで生存していた.

なお, 1997年11月8日には, 三熊山の測候所の近くで本種の1♀を採集したので併せて報告しておく.

(ほりた ひさし)

安乎町におけるトゲナナフシの記録 堀田 久²

筆者は1991年に, 安乎町でトゲナナフシ *Neohirasea japonica* を採集したが(本誌38号), その後も1992年から1996年にかけて, 安乎町の自宅付近で毎年のように1~2頭の本種を確認している.

1997年には下記のように, これまでより多くの個体を確認したので報告しておく.

1997年10月10日	1♀	安乎町北谷(自宅の庭)
1997年10月16日	1♀	安乎町北谷(自宅の床下)
1997年11月3日	1♀	安乎町北谷(自宅の花畑)
1997年11月4日	1♀	安乎町北谷(自宅のミカン畑)
1997年11月10日	1♀	安乎町北谷(自宅の納屋)

なお, 10月16日の個体は標本として保管している. また, 11月3日の個体は採集して飼育ケースに入れ, ヤマブキとカシの葉を与えたところ, ヤマブキの葉をかなり食べて11月20日まで生存していた.

(ほりた ひさし)

イシガケチョウについて 谷川 大海³

バルナシウス No.41 で報告して以来, 毎年同じ場所(洲本市池田, 食樹イヌビワ)で観察を続けてきた. その結果を報告する.

1995年	} 3月下旬から6月上旬まで 卵・幼虫, 成虫のいずれも発見できず.
1996年	
1997年	

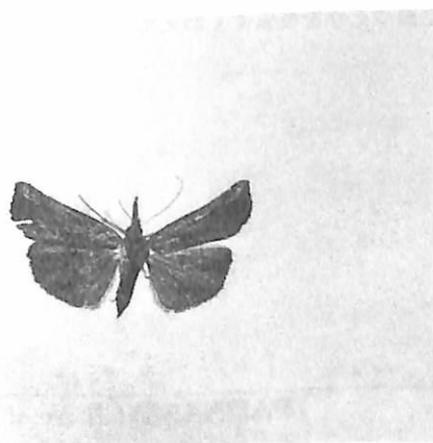
3: 〒656-0055 洲本市大野1018-2

1995年	6月10日	2令幼虫	2匹
		1令幼虫	6匹
	6月12日	卵	4個
1996年	6月22日	1令幼虫	5匹
		2令幼虫	1匹
		3令幼虫	1匹
	7月26日	卵	3個
	7月31日	2令幼虫	3匹
1997年	6月10日	2令幼虫	1匹
	6月14日	卵	3個

以上発見し、そのうちのいくらかを飼育箱で飼育観察した。これらのことから、次のように考えている。私の観察地でのイヌビワの芽吹きは4月10日ごろである。6月上旬まで卵が見られないことから越冬母蝶はここに産卵にはこない。他の場所で羽化した第1化が、6月上旬にここに来て産卵。これらは7月上旬に羽化(第2化)。この第2化母蝶もここで産卵。これらは8月上旬に羽化(第3化)。そしてこの第3化はここから飛び去ってその年は戻ってこない。4年間の観察でここで成虫を採取したのは1994年5月29日の1回きりである。

(たにがわ だいかい)

Hypena lignealis Walker オスグロホソアツバの記録 藤平 明⁴



採集年月日 1995.4.15
場所 南淡町灘大川
方法 灯火採集

4: 〒656-0541 三原郡南淡町阿万上町 794

種 *lignaealis* の基産地はインド。日本からは Wileman(1911) によって四国、九州の標本が記録された。

本州にも産すると思われ福井県武生市、愛知県知多半島、三重県などの報告がある。四国からの記録は香川県からのもので、これから考えると淡路島に産しても不思議ではない。本種は夏に出現するので採集された個体は、秋に産したものが越冬したものと考えられる。

(ふじひら あきら)

編集後記

- ▽ 発行が大幅に遅れてしまいました。原稿を早くからお寄せ下された方々にご迷惑をかけたこととお詫びします。
- ▽ このところ連日のようにマスコミで報道されていますが、明石海峡大橋が4月5日に開通します。地元の自治体がデベロッパーよろしく宅地開発に力を入れているのを筆頭に、さまざまな自然環境への脅威が待ちかまえています。
- ▽ これまでややのんびり構えすぎた感もありますが、より一層島の昆虫相解明に力を注ぎ、自然と共存する島づくりを根気よく訴えていきたいと思えます。(TB)

PARNASSIUS No.46

1998年3月16日印刷

1998年3月20日発行

編集者 登日邦明

発行所 淡路昆虫研究会

〒656-2151 兵庫県津名郡津名町大町畑235

郵便振替 01170-3-49591

印刷所 れいめい社

〒656-0025 兵庫県洲本市本町5丁目1-24

